

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

鴨志田地域ケアプラザが管轄する中里北部地区(鴨志田町、寺家町、たちばな台1丁目、2丁目、成合町)の総人口は14,988人で、世帯数は6,572世帯。昭和40年頃の宅地開発により建てられた、大型団地や比較的新しい住宅地が広がっている区分と、農業を営むエリアに区分できる。現在中里北部地区の高齢化率は約28.66%で、青葉区全体と比べて約7%高い値となっている。(データはいずれも2020年3月現在)

地域福祉保健計画や地域ケア会議等での意見交換により挙がってきている、地域の活動者の高齢化(次の世代の担い手不足)、地域での見守りの取り組み方などの課題に対して、この地域の強みである住民の自助・互助の意識の高さを活かすネットワークをつくっていく。

昨年度から始動した「気づきの和連絡会」を基点として、地域住民をはじめ区役所や区社会福祉協議会、小中学校の他地域の特色でもある大学2校、企業も含めた関係機関へ連携を働きかけ、子どもから高齢者まで多世代が情報収集をできる方法として会議や講座のWEB開催、SNS、ICTを活用。

新しい生活様式に合わせた、歩いていける身近な集まり場(店舗を利用したサロン)での茶話会を通して、災害時の対応・介護予防・見守り・ボランティア等に繋がる活動に取り組む。

ケアプラザが身近な相談窓口であるよう、多くの住民が利用しやすい仕組みづくりとして、自治会・町内会館等に出向き、介護保険に関する講座等を通してケアプラザの機能を周知し、課題解決に向けて地域住民と一緒に理解を深めていきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	子どもから高齢者まで広く住民が持つ困り事や問題、状況に合わせて、相談でき、適切な機関につなげられるよう、相談事例を地域と共有する機会をつくります。 ラジオ体操の活用、子ども向けの指導ボランティア、介護予防講座などを実施していきます。 気づきの和連絡会のチラシやステッカーを活用し、見守り活動を地域住民と共に普及啓発していきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の強みである住民の自助・互助の意識の高さを活かし、地域の行事やボランティア団体の活動、NPO法人、民間企業等多様な組織・団体につながるよう、新しい生活様式に合わせた、小さな集まり場(店舗を利用したサロン)での茶話会や、若い世代が利用できる工夫として、WEB開催、SNS、ICTの活用をすすめていきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域住民と福祉の専門職、インフォーマルなど社会資源がつながり、地域全体で共助の関係性ができる場として、包括エリアの地域ケア会議や交流会を開催します。地域の課題を解決に向けて、ケアマネジャーや事業所など福祉の専門職が対応力を高められるように、包括カンファレンスや研修などの支援をしていきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症について、正しく理解し早期発見・対応に繋げていくために、地域への普及啓発等を実施します(サポーター養成講座の開催や介護者のついででの周知等)。地域住民の他、郵便局や新聞社、銀行等とも連携し、把握した対象者に対して認知症初期集中支援チームを活用したり、医療機関や区役所と連携したりして対応していきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	住み慣れた地域で、いつまでも心身共に健康で過ごせるように歩いて行ける身近な場所に関係機関(医療機関・介護保険事業所等)との他職種連携による事業(介護予防)や普及啓発(ハマトレ)に取り組めます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

新型コロナウイルス感染症により地域の行事が縮小・休止する中でも見守りにつながる「気づきの和連絡会」を継続的に開催、昨年度から作成に向け動いていたチラシやステッカーも完成し配布を開始しました。この「気づきの和連絡会」を通して、企業やボランティア、学校向けに「認知症サポーター養成講座」を実施した他、「防災講座」「ポッチャ体験会」等も地域、学校・PTA、企業と協働でおこなう中でケアプラザとの関係性を深めることができ、大学生の実習支援にもつながりました。また、新しい生活様式に合わせた事業として「zoom体験講座」「LINE講座」「スマホ体験講座」「ラジオ体操」「介護予防講座」「福祉事業所勉強会」等も展開しました。

区からのコメント

・地域の大学との連携を丁寧に進めていただいています。地域活動に大学が積極的に関わっていけるように、地域と大学の橋渡し役として、引き続きご支援をお願いします。また、学生が地域活動に興味を持ち、継続して地域と繋がっていけるような支援もしていただければと思います。

・地域の方へのICTを活用した情報発信や講座の実施など、対象に合わせて難易度を分けて実施されるなどの細やかな工夫が、その後の取組につながったものと思います。対面での集まりが難しい状況でも、地域の方が利用したいと思った時にすぐに使えるようにZOOMなどの活用についての支援をお願いします。

・新規で2つのカフェを開かれたことで、多世代が気軽に集える場ができ、人と人との新たなつながりもできたのではと思います。ケアプラザのPRもできる良い機会となっていますので、感染対策もしたうえでカフェなどの集える場が、「歩いて行ける場」など様々な場所でも開催できると良いと思います。

・気づきの和を通して多世代の関係者間で顔の見える関係性が出ていて、とても素晴らしいと思います。今後もサポーター養成講座等の事業や地域ケア会議で生かしていけると良いかと思います。

・学校、新聞店、ボランティア向けに認知症サポーター養成講座を継続しており、このような地道な取り組みが地域の認知症への理解や見守りにつながっていると思います。引き続き、講座の実施をお願いします。

令和3年度鴨志田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	利用者、事業所、関係者を問わず、公正・中立の立場として必要な情報を提供し、サービスを利用する際には利用者、家族の選択に合致したサービスが適切に提供されるよう各関係機関と連絡調整していきます。	・緊急時や事故発生時の対応に関して、マニュアルに沿って迅速に対応できるよう保管場所等について明確にします。 ・個人情報の取り扱いについて入職時と年2回の研修を実施し、知識を深め、意識向上を図ります。郵送・FAX等の個人が特定できる内容を提供する際にはダブルチェックを行ない、情報漏洩防止に努めます。
実績	公正・中立性の意識を強く持ち、相談対応時等も複数の情報提供を行ないながら、利用者が自己選択できるよう取り組みました。また事業者情報の提供方法について、職員間でも情報を共有しました。	全職員を対象とした研修を年2回開催するほか、入職時研修、職員会議や朝礼での情報共有、注意喚起を行ないました。また、郵送時・FAX送信時の際には細心の注意を払い、ダブルチェックを徹底しています。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、身体状況や対象者自らの選択に基づき、介護予防・自立支援に向けたフォーマル・インフォーマルサービスを包括的・効率的に実施できるように支援します。	利用者が住み慣れた自宅、地域で生活における支障を最小限にとどめ、永く継続できるように利用者、家族の意向、心情の変化を細かく把握し、サービス事業所、地域包括支援センター、区役所と連携し、自立支援に向けた取り組みを行います。担当職員が不在の時でも対応ができるよう日頃から職員間の連携を密に行なっています。
職員体制	管理者(常勤)1名・保健師(常勤兼務)1名・主任ケアマネジャー(常勤)1名・社会福祉士(常勤)1名	管理者(常勤)1名・介護支援専門員(常勤兼務)1名・(非常勤)2名
契約者数	102	40

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)		
目標	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが安心してご利用できる場として、コロナ過でも取り組める社会貢献を含め、地域の方たちと交流が持てる場として少しずつ、お互いが共存していけるようにサービス提供を行なっています。 ご利用者ご家族の要望に迅速に対応し、地域での交流を行ないながら、在宅生活を長く続けられるよう支援していきます。 自立支援を常に考えながら、自己選択のできる機能訓練を多く取り入れたプログラムの提供を行なっています。 自己決定の難しいご利用者にも出来るだけ人との関わりを多くして、充実したサービスを提供していきます。 感染症対策を行ない、職員・利用者ともに注意を呼び掛けながら運営を行なっています。 		
実施体制	【実施日数】 月～土(日曜、年末年始を除く) 【提供時間】 9:45～16:00 【定員】 35名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】

利用料金・実費負担	利用料金…介護度、負担割合(1~3割)に応じた金額を徴収 ・実費負担…昼食代750円(おやつ代含む)		
職員体制	管理者1名(常勤兼務) 生活相談員3名(常勤兼務) 看護職員2名(非常勤兼務) 機能訓練指導員2名(非常勤兼務) 介護職員13名(常勤兼務2名・非常勤11名) 運転手4名(非常勤) 調理員4名(非常勤)		
契約者数等	【延べ利用者数】 5857 【契約者数】 88	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和3年度「横浜市鴨志田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,221,500		17,221,500	16,971,662	△ 249,838	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	300,000		300,000	865,440	△ 565,440	
雑入	40,000	0	40,000	43,779	△ 3,779	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	40,000		40,000	43,779	△ 3,779	
その他			0		0	
その他	△ 3,990,000		△ 3,990,000	△ 3,990,000	0	施設利用料相当額控除
収入合計	13,571,500	0	13,571,500	13,890,881	△ 319,381	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,412,500	0	11,412,500	12,321,437	△ 908,937	
本俸	9,147,500		9,147,500	9,546,480	△ 398,980	所長1/8名、コーディネーター1名、サブコーディネーター4名
社会保険料	624,000		624,000	1,091,844	△ 467,844	
手当計	1,550,000		1,550,000	1,543,236	6,764	
健康診断費	35,000		35,000	34,032	968	健康診断、インフルエンザ予防接種
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	50,000		50,000	97,388	△ 47,388	横浜市社会福祉協議会共済掛金
その他	6,000		6,000	8,457	△ 2,457	独)福祉医療機構退職共済掛金
事務費	400,000	0	400,000	1,095,569	△ 695,569	
旅費	5,000		5,000	5,874	△ 874	会議等参加時交通費
消耗品費	45,000		45,000	304,602	△ 259,602	コピー用紙、プリンター、事務用品、日用品
会議滞在費	0		0	0	0	
印刷製本費	50,000		50,000	105,540	△ 55,540	「鴨めーる」、資料等印刷
通信費	120,000		120,000	124,046	△ 4,046	電話料金、参加案内等郵送
使用料及び賃借料	8,400	0	8,400	8,400	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	8,400		8,400	8,400	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	4,000		4,000	45,377	△ 41,377	個人情報漏洩、感染症、業務中傷害
職員等研修費			0	1,125	△ 1,125	安全運転管理者研修
振込手数料	5,000		5,000	2,456	2,544	事業講師料等振込手数料
リース料	80,000		80,000	185,399	△ 105,399	コピー機、AED、玄関マット、パソコン
手数料	1,000		1,000	14,900	△ 13,900	ウイルスバスターライセンス料、
地域協力費	20,000		20,000	0	20,000	地域自治会等協力費
その他	61,600		61,600	297,850	△ 236,250	ガソリン代、自動車保険料、市協会費、青葉区社協会費他
事業費	442,000	0	442,000	931,637	△ 489,637	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	400,000		400,000	931,637	△ 531,637	
その他			0	0	0	
管理費	3,833,000	0	3,833,000	5,600,349	△ 1,767,349	
光熱水費	2,237,000		2,237,000	3,888,166	△ 1,651,166	
清掃費	751,000		751,000	691,757	59,243	
機械整備費	320,000		320,000	321,183	△ 1,183	
設備保全費	525,000	0	525,000	437,492	87,508	
空調衛生設備保守			0	21,899	△ 21,899	
消防設備保守	130,000		130,000	58,397	71,603	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守	75,000		75,000	33,092	41,908	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	320,000		320,000	324,104	△ 4,104	
共益費			0	0	0	
その他			0	261,751	△ 261,751	
修繕費	474,000		474,000	224,162	249,838	予算：指定額
公租公課	1,000,000	0	1,000,000	983,039	16,961	
事業所税			0	0	0	
消費税	1,000,000		1,000,000	983,039	16,961	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	17,561,500	0	17,561,500	21,156,193	△ 3,594,693	
差引	△ 3,990,000	0	△ 3,990,000	△ 7,265,312	3,275,312	

自主事業費 収入	300,000	0	300,000	865,440	△ 565,440	
自主事業費 支出	400,000	0	400,000	931,637	△ 531,637	
自主事業 収支	△ 100,000	0	△ 100,000	△ 66,197	△ 33,803	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	40,000	0	40,000	43,779	△ 3,779	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	8,400	0	8,400	8,400	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	31,600	0	31,600	35,379	△ 3,779	

※各々項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度「横浜市鴨志田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	19,303,500		19,303,500	19,153,084	150,416	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,159,000		5,159,000	5,159,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
収入合計	24,616,500	0	24,616,500	24,466,084	150,416	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	21,502,500	0	21,502,500	24,293,554	△ 2,791,054	
本俸	11,785,500		11,785,500	13,657,794	△ 1,872,294	所長3/8名、包括3職種、地域支援1名
社会保険料	3,530,000		3,530,000	2,912,206	617,794	
手当計	5,684,000		5,684,000	7,275,251	△ 1,591,251	
健康診断費	42,000		42,000	36,093	5,907	健康診断、インフルエンザ予防接種
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	416,000		416,000	406,642	9,358	横浜市社会福祉協議会共済掛金
その他	45,000		45,000	5,568	39,432	独/福祉医療庫退職共済掛金
事務費	650,000	650,000	1,300,000	915,830	384,170	
旅費	10,000		10,000	7,185	2,815	会議等参加時交通費
消耗品費	228,000	650,000	878,000	207,794	670,206	コピー用紙、プリンタートナー、事務用品、日用品
会議ठीい費			0	0	0	
印刷製本費	47,000		47,000	94,890	△ 47,890	資料等コピー
通信費	116,000		116,000	120,022	△ 4,022	電話料金、提出物郵送
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	5,000		5,000	45,377	△ 40,377	個人情報漏洩、感染症、業務中傷害
職員等研修費	3,000		3,000	1,125	1,875	安全運転管理者研修
振込手数料	10,000		10,000	522	9,478	事業講師料等振込
リース料	36,000		36,000	185,399	△ 149,399	コピー機、AED、玄関マット、PC
手数料			0	19,419	△ 19,419	ウイルスバスターライセンス料、
地域協力費			0	0	0	地域自治会等協力費
その他	195,000		195,000	234,097	△ 39,097	ガソリン代、自動車保険料、市社協会費、青葉区社協会費他
事業費	1,184,000	0	1,184,000	767,417	416,583	
協力医	630,000		630,000	546,000	84,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000		100,000	0	100,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	149,874	4,126	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	300,000		300,000	71,543	228,457	予算：指定額
その他			0	0	0	
管理費	284,000	1,154,000	1,438,000	1,488,693	△ 50,693	
光熱水費		1,154,000	1,154,000	1,033,563	120,437	
清掃費	200,000		200,000	183,883	16,117	
機械警備費	84,000		84,000	85,377	△ 1,377	
設備保全費	0	0	0	116,292	△ 116,292	
空調衛生設備保守			0	5,821	△ 5,821	
消防設備保守			0	15,523	△ 15,523	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守			0	8,796	△ 8,796	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費			0	86,152	△ 86,152	
共益費			0	0	0	
その他			0	69,578	△ 69,578	
修繕費	126,000		126,000	59,584	66,416	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	23,746,500	1,804,000	25,550,500	27,525,078	△ 1,974,578	
差引	870,000	△ 1,804,000	△ 934,000	△ 3,058,994	2,124,994	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	554,000	0	554,000	221,417	332,583	
自主事業 収支	△ 554,000	0	△ 554,000	△ 221,417	△ 332,583	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市鴨志田地域ケアプラザ

令和3年4月1日～令和4年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	1,000	2,510		3,000	3,734	-734	8,000	6,603	1,397	65,000	49,077	15,923	1,300	1,502	-202
	その他	0	0	0	0	0	0	1,000	870	130	5,600	5,367	233	140	63	77
	事業・負担金収入			0			0			0			0	140	63	77
	利用者等利用料収入			0			0			0	4,000	4,200	-200			0
	受託収入			0			0	1,000	870	130			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	収入合計(A)	1,000	2,510	-1,510	3,000	3,734	-734	9,000	7,473	1,527	70,600	54,444	16,156	1,440	1,565	-125
支出	人件費			0			0	8,250	8,372	-122	52,140	49,890	2,250			0
	事務費			0			0	500	864	-364	10,000	3,349	6,651			0
	事業費			0			0	250	54	196	5,200	4,545	655			0
	管理費			0			0			0	4,700	4,812	-112			0
	その他	750		-788	2,500	2,308	192	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	750	1,538	-788	2,500	2,308	192			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	支出合計(B)	750	0	-788	2,500	2,308	192	9,000	9,290	-290	72,040	62,596	9,444	0	0	0
	収支 (A)-(B)	250	2,510	-722	500	1,426	-926	0	-1,817	1,817	-1,440	-8,152	6,712	1,440	1,565	-125

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和3年度 自主事業報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	介護者のつどい	平成16年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	現介護者や介護経験者がお互いの悩みや体験を話し、共感・共有し合うこと、情報交換をおこなうことを目的とします。	5:地域	1・6	茶話会形式で、介護者・介護経験者と包括職員などが悩みや体験を共有し合います。(8月・12月・3月を除く各月第4木曜日に開催。年9回。)	9	47
2	出張相談	平成29年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	主にたちばな台地区の住民の介護予防・介護保険・福祉サービス・権利擁護等の相談の受付を目的とします。	5:地域	1	たちばな台地区の地域住民(主に高齢者)の身近な相談場所として、介護予防・介護保険・福祉サービス・権利擁護等の受付を行います。(毎月第1火曜日に実施。)	9	2
3	鴨ちゃん健康クラブ	平成27年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	主にたちばな台地区の住民の介護予防・介護保険・福祉サービス・権利擁護等の相談の受付を目的とします。	1:高齢者	5	体操・口腔ケア・外出行事等を参加者も企画に関わり、活動を通して、同年代の仲間づくりにもなります。(月1回)	12	193
4	認知症サポーター養成講座	平成28年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症への理解を深め、地域全体での見守り体制を構築していきます。	5:地域	1.4.6	主に地域住民や担当エリア内すべての小中学校を対象に、認知症の病識や認知症状が見られる方への対応方法などを伝えていきます。(昨年も実施した団体については今年も引き続き年1回実施。)	5	179
5	鴨志田ノルディック	平成27年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	元気づくりステーションでスタート。地域の高齢者の健康づくり。地域の仲間づくり。	1:高齢者	5	毎月2回、ケアプラザに集合してから外で活動を行う。介護予防を目的に年に数回ケアプラザ内で「栄養」、「口腔ケア」の講座を行う。	16	196
6	ボランティア・事業所「情報交換会」	令和2年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	インフォーマルサービス関係者と事業所の顔の見える関係づくり	1:高齢者	5・6	区の中里北部地区のデータ分析に関する講話や事業所、民生員、ケアプラザのケアマネが集まり顔の見える関係づくりを行った。(年1回～)	1	12
7	中里北部「ちょこボラ」	平成23年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	介護保険、医療制度で補えない、日常生活の困りごとを住民で解決する取り組みを支援する。	5:地域	1・2・6	随時受付、支援をしている他、年4回の会議	7	76
8	ポッチャ体験会	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	スポーツ推進員や自治会などと連携し地域の方にポッチャを知ってもらう機会を作り、ゲームを楽しむ。	5:地域	1.2.3.4	スポーツ推進員、連合自治会と連携して地域住民同士の交流を図る。不定期	2	15
9	ハートフルライスパーティー	令和3年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	寺家の田んぼをかりて野外活動をしている団体との共催事業。地域の子どもから大人迄に農作業(特に稲作)について広く知ってもらい、収穫を感謝し色を大切にすることを啓発を行う。障がい児・者の施設と連携し参加者全員が顔の見える関係づくりをするきっかけの場を提供する。	5:地域	1.2.3.4	5月末に田植え、11月に稲刈り、12月に収穫祭を行う。年1回～3回	12	161
10	悠タみのりサロン	平成26年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	地域住民の孤立化を防ぎ、関係を深める目的で行います。住民による講座、食事作りも一緒に行う参加型のサロンです。	1:高齢者	5	地域の高齢者が集まって終活について、健康についての他、隔月で歴史講座を聞いた後、意見交換会を行う。月1回 毎月第4水曜日15:00～18:00	18	200
11	はまちゃん体操	平成27年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	毎週一回、ラウンジを利用して、健康体操を行います。実施後も開放し、ボードゲームやトランプなど思い思いに過ごせる交流の場を提供していきます。	1:高齢者	5	月4回 多目的ホールで映像と音声を見ながら「はまちゃん体操」を行う。毎週火曜日10:10～11:00	22	199
12	かもマチ食堂	平成28年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	子どもから大人まで集まる、異世代交流の場として開催。地域住民が町の先生として、子供たちに調理や遊びを提供し、住民の孤立化を防ぐ取り組みです。	4:子ども・青少年	5	令和3年の葉「食堂」ではなく「放課後支援」内容は多岐に渡り検討しながら子どもの居場所づくりを行う。月1回開催。他ミーティングとして月1回集まる。 15:00～17:00	21	225
13	ラジオ体操第一	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	日本体育大学との連携。学生(体操部)が地域向けのビデオレターを収録し、ラジオ体操第一の有効な体の動かし方をDVDを通じてレクチャーする。ケアプラザで多世代が観られる機会に放映する。	5:地域	1.2.3.4	ラウンジでDVDを視聴しながらラジオ体操を楽しむ。5月の連休、夏休み期間中	9	53
14	鴨志田囲碁倶楽部	平成18年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	囲碁を通して、住民の知り合うきっかけ、親睦を深める目的で開催します。参加者による教室の企画・運営も行い、ボランティア活動を広げていきます。	1:高齢者	5	講師に学びながら囲碁を楽しむ。月4回 毎月第2、第4日曜日 13:00～17:00 毎月第1、第3火曜日 13:00～18:00	24	288
15	デイサービス ひろがりサロン	平成17年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	地域の方や民生委員が連携して地域の中高齢者の方の居場所づくりを行う。	1:高齢者	5	介護保険に関係なく利用できる高齢者向けのサロン。地域の人がボランティアとして登録し、見守りが必要な高齢者に談話、体操、昼食の提供、散歩、誕生会、唄、遠足年間様々な活動を取り入れて互いに支え合うことを具現化する。見毎月3回～4回(内数回行事も含む)	60	743
16	ザ・オシャベリサロン	平成30年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	主に高齢者の茶話会として行ないます。集まりを通して、介護予防に関する情報発信をしていきます。	1:高齢者	5	ハマトレ、ボードゲーム、昼食会を通して、ご近所の情報交換、同年代の仲間づくりに繋がります。(毎週火曜日 はまちゃん体操後11:00頃～。)	39	122

■ 事業			■ 事業の性質		
1: 地域活動交流事業	2: 地域包括支援センター運営事業		1: 優先的に取り組みが求められる事業		
3: 生活支援体制整備事業	4: 共催(1と2)	5: 共催(1と3)	2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		
6: 共催(2と3)	7: 共催(1と2と3)				

■ 主な対象者、従たる対象者		
1: 高齢者	2: 障害児・者	3: 養育者及び乳幼児
4: 子ども・青少年	5: 地域	6: 事業者
7: その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
17	布あそびの会	平成17年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	裁縫をきっかけに地域住民の仲間づくりとして行います。作品の準備は参加者もできる範囲で行い、手作りの会として開催します。	1: 高齢者	5	講師を囲みながら手芸を楽しむ。不定期で地域に向けた小物づくりをする。月1回 毎月第一火曜日9:30~11:30	27	129
18	歴史謎解きシリーズ	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	専門家を招いて、歴史を深く学ぶ。	1: 高齢者	5	専門家を招き歴史講話を聴く。年6回	2	48
19	唄声風歌	平成17年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	歌唱をきっかけに住民の知り合う場、交流が持てる内容で行います。毎回、茶話会の時間を設けて情報交換もできるように実施していきます。	1: 高齢者	5	コロナ禍に合わせて、歌わず、伴奏者を招いて懐かしめる曲目を集めたコンサートを聴く。年2回	5	17
20	体操教室ひまわり	平成18年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	介護予防、同年代の仲間づくりを目的に行います。地区の保健活動推進員の協力を得ながら、高齢者の孤立化を防ぎます。	1: 高齢者	5	講師を招いた緩やかな体操。月2回 毎月第1、第3水曜日13:30~15:00	32	310
21	鴨のお茶の間	平成19年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	地域住民同士の仲間づくり、ボランティア活動につなげる目的で開催します。参加者が地域で活躍できるようにきっかけづくりも行います。	1: 高齢者	5	講師を招き、地域で茶道を楽しむ会 月1回 毎月第1、第3金曜日13:30~15:00	12	82
22	笑和会	平成18年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	主に男性対象の調理実習を通して、地域で活躍できるよう、ボランティア団体の紹介や地区の行事等を紹介しながら、ボランティア活動につなげていきます。	1: 高齢者	5	定年退職後の男性の集まり。料理を作って食べながらコミュニケーションをとる。月1回 毎月第4火曜日 10:00~13:00	1	7
23	楽しい折り紙の会	平成19年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	折り紙、クラフト等作品作りをきっかけに、住民同士の交流をはかる場として行います。参加後に地域のサロンなどで学んだことを披露できるよう、適宜活動紹介も行っています。	1: 高齢者	4.5	講師を招いて季節にあった折り紙を折り楽しむ。隔月1回第一木曜日	6	37
24	鴨ちゃんカフェ	令和3年度	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	地域住民の交流(多世代交流)、ロコモ予防(認知カフェ)、ケアプラザの周知。	5: 地域	1,2,3,4	近隣の2店舗が輪番で共催して場所を提供し、職員が出向いて地域向けの集まりの場をひらく。毎月第3月曜日 奇数月 15:00~16:00 偶数月 10:00~11:00	10	37
25	スポーツ救急 VRを使用した救命蘇生講習会	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	大学との連携事業。域学の目的。地域で救命について学び備える心を啓発する。住民同士の交流と顔の見える関係づくり。	5: 地域	1,2,3,4	日本体育大学と共催しバーチャルリアリティ、AEDなどを用いた実践を含む救命講座 不定期	1	18
26	水彩画を楽しむ会	令和3年度	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	要支援の地域の方の活躍の場を作り出すプロジェクトとし、5職種+居宅との情報交換の中で運れた講座。地域の方が講師となり自分の元気づくりで講師を務めて、自由に水彩画を描く中で基礎的なことをアドバイスし継続的な発展を目指す。	5: 地域	1	季節に風物を自由に描く。年間4回	3	24
27	防災講座	令和3年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	大学との連携事業。域学の目的。座学を取り入れて意見交換会を行ない地域の中の課題に気づき防災に大切さを啓発する。住民同士の交流と顔の見える関係づくり。	5: 地域	1	日本体育大学との共催事業。地域住民を対象に防災が発生したことを想定した意見交換や実践を行う。不定期	2	36
28	鴨志田ウォーキングクラブ	平成23年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	健康維持、地域住民の仲間づくり、情報交換の場として開催します。コース検討から実施、親睦会を参加者が関わりながら行っていきます。	1: 高齢者	5	2班に分かれてコース決めをし、決めたコースを会場で歩く。毎月1回第2水曜日	9	74
29	畑プロジェクト	平成23年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	地域住民の交流を目的に行います。季節ごとに計画表、作業表を参加者が作成、地域のお祭りやサロンにも参画してボランティア活動へ促していきます。	1: 高齢者	4・5	寺家に畑を借り、通年で作物を作り収穫を楽しむ。収穫物を地域で活用する時もある。月4回主に火曜日(その他必要に応じて随時)	4	191
30	かも☆ん	平成25年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	子育て世代の親子のひろば。参加者同士が同じ空間をともに過ごすことで子育てのヒントがもらえたり、お友達ができたり、母親の孤立化を防ぎます。	3: 養育者及び乳幼児	5	地域のボランティアさんによる親子に遊べる居場所。コーヒーを飲んで保護者にゆっくり過ごしてもらおう時間も心掛けています。月2回 毎月第1、第3火曜日 10:00~12:00(祝日は休み)「あおぼふれあいの助成金」の配分を受けて実施	37	314
31	絵本の読み語り育成・実践講座(令和3.10 改名 にじいろポッケ)	令和3年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	講師を招いて「読みが語り」の基礎を学び、子育て支援会場やシニアが集まる居場所で実践し、ボランティアの担い手として活躍する場の提供を行う。	1: 高齢者	2,3,4	講習は6月から月1回全4回。その後サークル活動としてボランティア活動を含めて月1回~2程度活動する。	14	109
32	歴史さんぽを楽しむ会	平成26年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	地域の歴史を学び、町歩きを行います。参加をきっかけに地区の行事や活動に関心をもち、ボランティア活動で発展できるよう活動紹介も行っていきます。	1: 高齢者	5	ボランティアで歴史に詳しい方を中心に集まる。青葉台駅集合で歴史に因んだ場所を散策する。概ね偶数月で隔月1回 第一月曜 13:30~	4	43
33	子育て支援ネットワーク	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	こどもかて支援課、ラフール、児童民生員との情報交換	7: その他	5	こども家庭支援課、ラフール、児童民生員、ケアプラザ内で子育て支援を行う団体、赤ちゃん訪問のエリアの保健師さんを招いて情報交換会を行った。年1回	1	3
34	デッサンから学ぼう	平成27年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	デッサンの活動を通じて地域住民同士が交流を行う。	1: 高齢者	5	講師を招き、コラージュ、墨絵、水彩画など、個々の希望に合わせて作品づくりができる。手作りの会です。月1回 毎月第1月曜 午後クラス 13:00~15:00	11	134

- 事業
- 1：地域活動交流事業
 - 2：地域包括支援センター運営事業
 - 3：生活支援体制整備事業
 - 4：共催（1と2）
 - 5：共催（1と3）
 - 6：共催（2と3）
 - 7：共催（1と2と3）

- 事業の性質
- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 - 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

- 主な対象者、従たる対象者
- 1：高齢者
 - 2：障害児・者
 - 3：養育者及び乳幼児
 - 4：子ども・青少年
 - 5：地域
 - 6：事業者
 - 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
35	カフェひるがお	平成28年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	ラウンジを解放して地域作業所による手作りパンの販売と飲み物の提供を地域のボランティアの協力を得ながら交流の場として開催します。	2:障害児・者	5	コロナなのでカフェは行わずラウンジで数回販売のみ行った。 月2回 毎月第1火曜日 11:30～ 毎月第3火曜日 11:30～ (売り切れ次第、終了)	4	40
36	書を楽しむ会	平成28年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域住民の交流事業。書道を通して地域での仲間づくりを目的に行います。講師は近隣住民が担い、住民同士の情報交換の場として活用していきます。	1:高齢者	5	講師を招いて書道を楽しみ、年に1回展示を行う。 月2回 毎月第1.3水曜日10:00～12:00 毎月第2金曜日10:00～12:00	32	218
37	シルバーリハビリ体操	平成28年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	介護予防を目的に行います。個々の身体に合わせて健康維持を目標に行いません。	1:高齢者	5	近隣の介護施設職員に依頼して、ストレッチ、ボール、レクリエーション等、月2回 毎月第2、第4火曜日14:00～15:00	21	230
38	鴨の花のとも①②	平成30年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	生け花をきっかけに、住民の交流をはかります。異世代交流の場として行います。	1:高齢者	5	地域の生け花教室から講師を招いて生け花の基本から季節に応じた作品作を行う。門下生の実演の場としての役立っている。月1回 毎月第4土曜日10:00～12:00	11	94
39	タンバリンを作ってフィリアホールで演奏しよう	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	フィリアホールとの地域連携事業(夏休み企画)。	3:養育者及び乳幼児	5	講師を招いて打楽器を作り、その楽器を持ってフィリアホールのコンサートに参加して演奏する。製作日とコンサート 年2回	2	36
40	鴨志田フォトサークル	平成31年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	フォト活動を通じての地域住民同士の交流。地域の行事などを記録するボランティアの育成。	1:高齢者	5	季節に合わせた撮影会と講習会を企画、交流会として食事会等。ケアプラザや地域行事への記録係としてのボランティア参加。月1回	7	116
41	暮らしに役立つ(お金の)話	令和3年度	4:共催(1と2)	2:発展させるねらい	専門家を招いて地域のライフワークに役立つ講話を行い、質疑応答で疑問に答え、中でも専門分野に繋げるべき案件があれば迅速に対応するきっかけとする。	5:地域	1	予め講話の内容をケアプラザと確認、打ち合わせて地域に発信したい内容をファイナンシャルプランナー他専門分野の方が集まって順番を追って「暮らしに役立つ話」を講話する。質疑応答に丁寧にこたえ、アンケート調査も行い振り返りを行う。年間4回	4	41
42	ウクレレ初心者講座 LEALEA	令和3年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	ウクレレをきっかけに地域住民の交流を図る。手軽な楽器を始めることで遣り甲斐を見つける。地域の場に出て演奏できるボランティアの育成に繋げる。	1:高齢者	5	フィリアホールとの地域連携事業(あおばカノン関連)。初心者講習をきっかけにウクレレのグループを立ち上げる。月1回	13	70
43	「音楽を楽しむ会」(愉音)	令和3年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	プロの音楽家が集まり、地域の親子に良質な音楽の提供と興味、継続していく中で参加の親子とのコミュニケーションを図り、子育て支援を行う。	5:地域	1.2.3.4	専門家による演奏や読み語りなど。月1回	5	141
44	放課後支援プログラム	令和2年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	児童の放課後の居場所づくり。教える側のボランティアの育成。	4:子ども・青少年	5	令和3年度は英検取得、ロールプレイなどを取り入れた英語支援を学校が終了した時間帯に行う。月8回	63	595
45	余暇支援プログラム	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	春・夏・冬休みなど「余暇」の子どもの見守りと居場所の提供。地域で顔の見える関係づくりを目指す。	4:子ども・青少年	1.5	GWと夏休みに期間限定でラジオ体操を行った。年間1～2回	7	46
46	かも〇リトミック	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の未就園前の親子の顔の見える関係づくりの場の提供。身近な拠点で子どもに質の高い音楽を提供する場づくりとする。	3:養育者及び乳幼児	5	講師を招いてリトミックを行う。月1回	8	136
47	手先活き活き講座	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	手先を使って介護予防に繋げる。親子向けの講座などの開設で	5:地域	1	手先いきいき講座。四季折々に多世代で参加し楽しめるプログラムを提供する。9月に敬老の日のプレゼントとして「猫クリップ」を製作した。年間1～4回	1	7
48	デジタルライフを楽しむ会	令和2年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	シニアのデジタル大夫サポート。地域住民のライフワークサポート。地域の仲間づくり。ボランティア育成	1:高齢者	5.6	講師を招き、PC、タブレット、スマホなどを使って、生活を便利にしたり、楽しみを拡げるための講座。地域貢献になるボランティア活動参加。今年度は「パワーポイント講習会」も特設し、最終日には作品発表の場を設けた。毎月3回 第1.2月曜日	46	239
49	Salon de Duck	令和3年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域のおとなが語学を忘れないよう学ぶ機会の提供。初心者英会話で遣り甲斐を見つけるクラスの開講。英語を通じたコミュニケーションとコミュニティづくり。	1:高齢者	5.4	ネイティブスピーカーの先生を招き、英会話初心者と過去に経験のある方用の中級講座を開催。子供向け放課後支援の鴨jrイングリッシュの支援や地域向けに弁論大会などを検討中。月に2回	27	302
50	優しい手話講座	令和3年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	既存団体の地域貢献と遣り甲斐づくり。手話を継承する新しい人材の育成。手話の普及啓発、身近な拠点での活動に結び付ききっかけをつくる。	1:高齢者	5	地域の手話グループが担い手になり、手話講座を開催。新しい人材の育成を行う。月1回	16	94
51	四季のコンサート	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	開催には地域活動でレクリエーションをを目的に活動している、個人や団体を主に招き、活躍の場としてケアプラザを提供する。団体の会員募集など活動の活性化の支援につなげる。ケアプラザの周知。地域の方の生活圏内での楽しみと引きこもり防止。	5:地域	1	年間1～4回程度四季折々や行事に合わせて、コンサートやレクリエーションを行う。	4	51
52	父親育児教室	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	横浜市推奨の講座。先輩パパさんの講師の育児支援。子どもとのコミュニケーションの取り方やママの育児支援についての啓発を行う。	5:地域	2.3.4	横浜市から講師を招いて父親講座を行う。今年度2回予定	1	3

■ 事業			■ 事業の性質		
1: 地域活動交流事業	2: 地域包括支援センター運営事業		1: 優先的に取り組みが求められる事業		
3: 生活支援体制整備事業	4: 共催(1と2)	5: 共催(1と3)	2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		
6: 共催(2と3)	7: 共催(1と2と3)				

■ 主な対象者、従たる対象者		
1: 高齢者	2: 障害児・者	3: 養育者及び乳幼児
4: 子ども・青少年	5: 地域	6: 事業者
7: その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
53	収穫体験会(サツマイモ)	令和2年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	地域住民の交流を目的に行います。ボランティアの活躍の場づくり、新しいボランティアへの活動参加促進。親子、子育て支援。自然とのふれあい。	5: 地域	1.3.4	6月に種付け、年間通じた草取り、みずやり、観察、収穫	2	60
54	中国文化の会	令和2年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	語学を通じた仲間づくりと生甲斐づくり。異文化への興味を拓ける	5: 地域	1	講師を招き中国語を学ぶ。中国茶、肉まんづくりなどを行う。月2回第2.4木曜日	18	132
55	気づきの和連絡会	令和2年度	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	住民や児童・学生、地域で働く人々が連携し、まちで見守りの輪を広げる取組。中里北部地区の取組。	5: 地域	1.2.3.4.6	地域の関係機関(連合町内会、地区社会福祉協議会、民生員児童委員等)と各地区の現状報告と情報共有を行ない、今後必要となる資源の創出に繋げます。(年3回程度。)	4	81
56	引きこもる人の気持ち	令和3年度	6: 共催(2と3)	2: 発展させるねらい	区内のケアプラザと共働。専門家を招いて地域の「ひきこもり」の状態が支援が必要な方の支援を行うきっかけを作る。についての当事者、家族、支援者向けにセミナーやサロン形式情報交換会を開催。ITCを活用しホストのプラザよりZOOM配信で参画するプラザに情報配信を行いひろく地域の方に見て頂く機会の提供を行う。	5: 地域	1.3.6	区内のケアプラザと共働し、専門家を招いて「ひきこもり」についての当事者、家族、支援者向けにセミナーやサロン形式情報交換会を開催。ITCを活用しホストのプラザよりZOOM配信で参画するプラザに情報配信を行いひろく地域の方に見て頂く機会の提供を行う。不定期	2	8
57	子育て相談(ほっこりんこ)	平成16年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	活動を通じて、育児相談を区の子育て支援課に迅速に繋げる。地域の子育て世代のコミュニケーションの場の提供	3: 養育者及び乳幼児	2.4	区の子育て支援者が来館し、遊びのスペースを設けながら養育者の相談に対応し	49	664
58	フードパントリー	令和3年度	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	地域連携。必要な方への支援。見守り活動。	5: 地域	1.2.3	民生委員と協働し、一人暮らしの高齢者や母子家庭、生活保護を受けている方に届けられるようにする。継続活動を通じ、地域とケアプラザで情報共有を行い、必要に応じ、専門機関に迅速に繋げる。第2月曜日午前 月1回	9	241
59	スマホ・LINE体験教室	令和2年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	企業連携。高齢者のデジタルライフの支援。	1: 高齢者	6	ソフトバンクと企業連携し、デモ機を持参してもらい高齢者にスマホの操作法を学ぶ機会の提供。年2回	5	65
60	古典文学を楽しむ会	令和3年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	古典文学を通じた地域住民のコミュニケーションの場づくり。	5: 地域	1.2.3.4	講師を招いて、枕草子を読み進める。毎月2回 土曜日	21	323
61	ぬりえサロン 彩(SAI)	令和2年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	ぬり絵を通じた地域住民同士の繋がりがづくり。	1: 高齢者	5	講師オリジナルの大人向けの原画を提供し色鉛筆で塗り進める。毎月1回 第3金曜日	11	77
62	ハマトレ講座	令和2年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	介護予防の啓発。ハマトレの周知。	1: 高齢者	5	介護予防啓発講座。WEBを通じてハマトレの講座を提供する。 不定期	4	28
63	かるがもクラブ	令和3年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	世代間交流。介護予防。情操教育。	5: 地域	1.2.3.4.	講師を招いてトーンチャイムを学ぶ。月2回 日曜日	9	70
64	浮世絵から学ぼう	令和2年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	地域住民同士のコミュニケーション。探求心を養い調べる楽しみを知り、自宅での過ごし方や外出への後押しになるような遣り甲斐を作る。	1: 高齢者	5	講師を招いて浮世絵から歴史を学ぶ。奇数月開催 年間6回	7	91
65	スマホ・LINE体験教室	令和2年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	コロナ禍でシニアがスマホを活用し、外部との通信手段を確保しようとする中の技能向上の手助け。携帯からスマホへの切り替えも迫る中での不安解消。ケアプラザの周知。企業連携。	1: 高齢者	5.6	企業と連携して、デモ機を使ってスマホの使い方やラインの仕方を学ぶ。不定期 概ね年間2回(1回につき2日間)	12	95
66	シナプソロジー	令和2年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	介護予防。ケアプラザと包括支援センターの周知	1: 高齢者	5	講師を招いて介護予防、認知症予防につながる「脳トレ」を行う。不定期年2~3回	2	20
67	笑顔で元気に！口元から健口長寿	令和3年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	介護予防。ケアプラザと包括支援センターの周知。ポジティブエイジング。口腔ケア、誤嚥予防など。	1: 高齢者	5	講師を招き、口腔ケア、表情筋などを使う。不定期 年1回~2回	1	9
68	学校に行きずらさを感じている親のための勉強会	令和3年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	子育て支援 同じ悩みを持つ親同士の交流 ひきこもりの子どもの支援	4: 子ども・青少年	5	フリースクールの教師を招き講話と茶話会を行い、参加者の中からひきこもりの子どもや親のためにできることを考えて実践できることを行う。	1	10